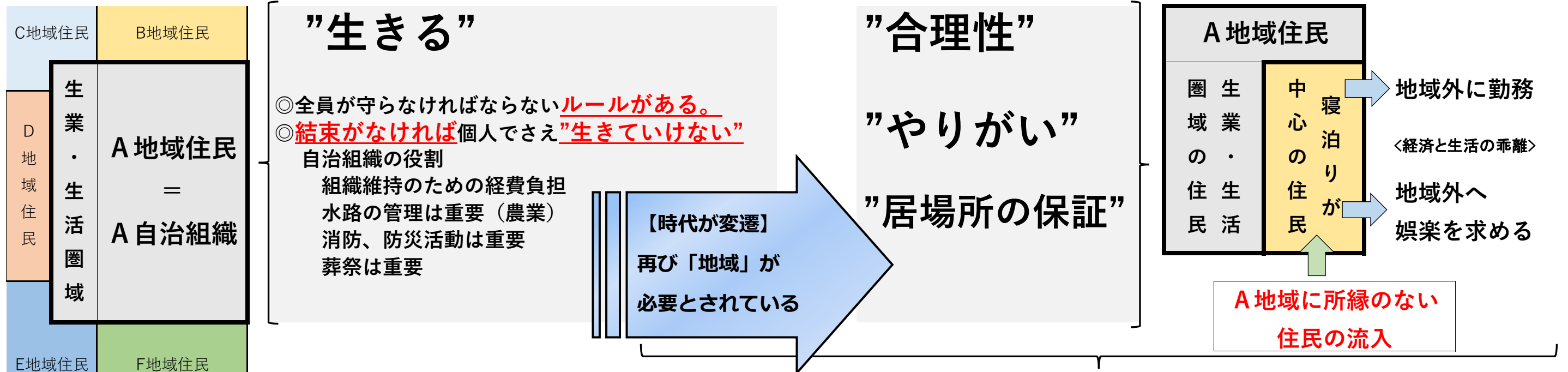


# 白戸先生の講演会から考える在り方検討会の整理

## 【昔のコミュニティ】

## 最重要キーワード

## 【現在のコミュニティ】



## 自治組織在り方検討会の共通の理解

全国的な共通課題の視点

人口減少

と

少子高齢化

と

災害の激甚化

- 【現状の認識】  
地域住民の昔のような同質性が薄れて、多様化している。  
⇒ 昔の自治組織のあり様には戻れない。
  - 【見直しの方向性】  
旧来の住民、新しい住民が共に納得できる 新しい原則で自治組織を作り直す。
  - 【アンケート結果から浮かび上がった課題へのアプローチ】
- ☆自分のことは 自分でやる のが一番という発想（自分を地域の真ん中に置いて考える）
  - ☆地域の現状や課題は何かから始める ～ゆでガエルにならないために
  - ☆負担を軽減するより 存在価値を高める。 ～必要なことなら負担感は少ない。
  - ☆ ちょっとしたことから 目に見えて変えていく。
  - ☆情報の共有と 分かりやすい説明 ・日頃のコミュニケーション
  - ☆役員の OBを活用 する。
  - ☆ 自発的な地域づくり活動 との連携、 **100人の一歩より1人の百歩**

将来の地域を支える  
「駒ヶ根モデル」創設へ